

No.95 トマーゾ・カッセルラ

—無題—

Tommaso Cascella

北川フラムさんのコラム / 1997 (平成9) 年6月1日付 立川市市報記事より

彫刻作品はそのボリュームで形そのものを見せる場合が多いが、このカッセルラの作品のように、逆に空なる内部空間を見せることもある。ここでは、椅子の上の把手とってのような細い線で囲まれた部分が魅力ある空間をかたちづくっている。

いずれの場合にも、彫刻作品はそれ自体のかたちとともに、それが置かれる空間自体に影響を与え、ある場合には空間自体を変容させる働きをもつことがあり、古い時代の仏教や、現代のすばらしい作品にはそういう力があって、人々に深い体験を促しているのだ。

彫刻はその意味で、その設置される場所と深くかかわっている。